

# 図書館

## 蔵書数

2023年5月1日現在

図書		雑誌	
内国書	885,795冊	内国書	9,576種
外国書	235,484冊	外国書	3,561種
計	1,121,279冊	計	13,137種

## 年間入館者数

2022年度

学部生	大学院生	通信学生	教職員	卒業生	その他	合計
113,980人	2,496人	4,219人	7,809人	1,273人	3,607人	133,384人

## 図書館企画展（図書館1階中央展示ケース）

2022年度

展示月	月例展示名	展示内容
2022年4月～5月	『名所めぐり：あの花 この花』 (前期・後期)	前期は桜、後期は藤をテーマとし、それぞれの花を詠んだ和歌を紹介するとともに、花見に興じる人々や名所として知られる京都の観光地について取り上げる。 【展示資料】 『萬葉集』『新古今和歌集』『後撰和詞集』『花洛細見圖』『都名所百景』等
2022年6月～7月	『祇園祭』 (前期・後期)	長らく「休み山」だった鷹山が200年ぶりに復活するのにあわせ、江戸時代の巡行の様子や、現在は行われなくなった芸妓たちの仮装行列「ねりもの」を紹介。 【展示資料】 『十二月あそび』『祇園會細記』『都林泉名勝圖會』『六月十四日祇園會』『祇園神輿洗ねり物繪巻』等
2022年8月～9月	『ありし日の京』 (前期・後期)	かつての京都では当たり前だった光景を特集。前期では、明治期後半までは灯されていたという送り火の「い」について、後期は江戸時代に建立され、被災と再建を繰り返したのち、昭和43年に焼失した“京の大仏”を取り上げる。 【展示資料】 『京繪圖道法附』『細見京繪圖』『明治京都指掌之圖』『京名所』等
2022年10月～11月	『名所案内周遊ガイド』 (前期・後期)	旅ブームが起こった江戸時代後期、人気を博した旅行案内記を特集。京都ガイド本の嚆矢とされる『京城勝覽』を中心に、当時のモデルコースを資料とともに紹介。 【展示資料】 『京城勝覽』『京童』『京内参り』『都名所道案内』『皇都細見之圖』等
2022年12月～ 2023年1月	『内裏と仙洞御所』 (前期・後期)	天皇と上皇(院)の居住地であった御所と仙洞御所。内部の様子を描いた刊本を展示するとともに、絵図や指図(設計図)の比較により立地の変化をたどる。 【展示資料】 『禁闕内外全圖』『内裏圖』『禁裏公家屋敷圖』『仙洞御所二分計色分繪圖』等 ◀関連企画▶Season's greetings! 本学所蔵の貴重書『都名所百景』より雪景色の作品を厳選し、ポストカード図案を作成、ダウンロード配布。
2023年2月～3月	『春を詠む2023 一業平と貫之一』 (前期・後期)	2021年に実施した「春を詠む」展の続編企画。前期では在原業平に焦点をあて、彼の詠んだ春の歌や『伊勢物語』などを、後期では紀貫之について取り上げる。 【展示資料】 『古今和歌集』『伊勢物語改成』『今業平昔面影』『三十六歌仙繪巻』等

## 図書館常設展示貸出（図書館1階入り口展示貸出コーナー）

「カーボンニュートラル～持続可能な社会を目指して」（教育後援会援助により購入）

# 法然仏教学研究センター

## 講演会

2022年度

開催日	開催形式	講師	講題	来場者数
2022年7月2日(土)	オンライン (Zoomウェビナー)	小谷 信千代 (大谷大学名誉教授)	浄土より還来しての衆生救済	115名